

1-7 環境基準が設定されている4物質の月平均値推移

環境基準が設定されている4物質を測定している県測定地点の月平均値について、図1-6に示した。地点、物質により濃度が高くなる月は異なり一定の傾向は見られなかった。ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンをみると市原市岩崎西は全般的に濃度が高いが、トリクロロエチレンでは、白井市七次台が、テトラクロロエチレンは、成田市加良部、白井七次台も高濃度となる事があった。ジクロロメタンについては、白井市七次台の濃度が他地点に比べ高く、3月は30 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ と高い濃度を示した。鴨川市清澄、東庄町石出は、4物質とも低濃度で推移した。

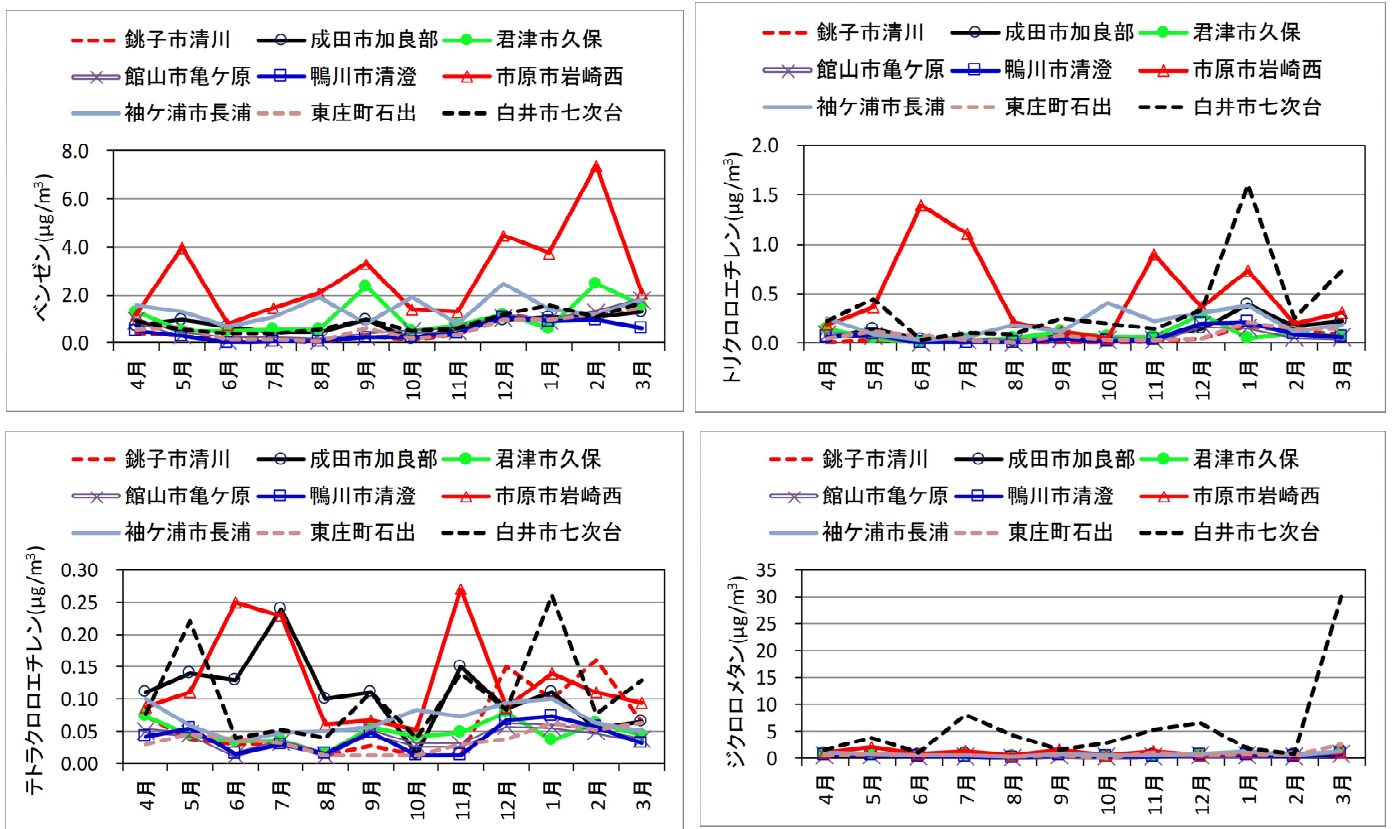


図1-6 環境基準が設定されている4物質の月推移

1-8 指針値が設定されている9物質の月平均値推移

指針値が設定されている9物質を測定している県測定地点の月平均値について、図1-7に示した。地点、物質により濃度が高くなる月は異なり一定の傾向は見られなかった。水銀、ヒ素、マンガン以外の6物質については、市原市岩崎西が他地点に比べて高い濃度を示す月が多かった。水銀は成田市加良部、袖ヶ浦市長浦が、マンガンは君津市久保が、1, 2ジクロロエタンは市原市岩崎西に加えて成田市加良部が他地点に比べて高い濃度を示す月があった。ヒ素は君津市久保、鴨川市清澄が他地点に比べて低い濃度で推移し、他の5地点は高い濃度を示す月があった。

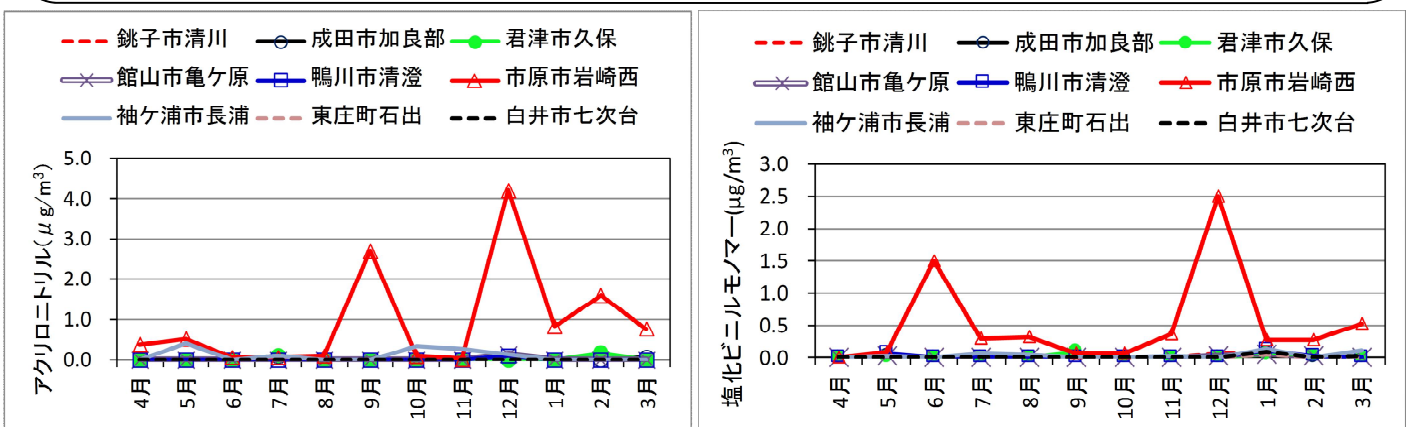


図1-7 指針値が設定されている9物質の月推移(1)